

2020年室蘭市 中島商店街のBCPを考える⑥「ワールドカフェ①」

日時	令和2年12月18日(金) 18:30~20:00
場所	中島商店会コンソーシアム『ふれあいサロンほっとな〜る』
参加者	13名
講師	法政大学大学院 石山 恒貴 氏

■ ワールドカフェ①『BCPの基本方針を考える』

【目的】

- ◆ テーマ：
⇒ 中島商店街のBCPの基本方針を考える
- ◆ なぜワールドカフェを開催するのか：
⇒ 自分たち自身で、何の制約もなく、BCPの基本方針を考えるため
- ◆ 全体の終了時に、何が達成されているのか：
⇒ 災害が発生したら、中島商店街はどうなってしまうのか、今の状況で対応出来るのかななどを議論し、その議論にあわせた基本方針の方向性が決まっている

【スケジュール】

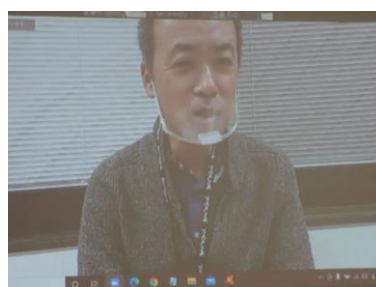
- ・ 説明 18:30~18:45
- ・ ラウンド1 18:45~19:00
- ・ ラウンド2 19:00~19:15
- ・ ラウンド3 19:15~19:35
- ・ 全体共有 19:35~20:00

【カフェの特徴】

- ・ 人間関係が対等（地位や年齢が関係ない）。言いたいことが言える。
- ・ 職場や家庭で出会えない人と会える。開放的。知識、価値が創造される。

【カフェの進め方】

- ・ まず、各テーブルでホストを1名決める。
- ・ 各テーブルのホスト1名のみ、ずっとテーブルに残る。
- ・ 2ラウンド開始時点で、ホスト以外の人は、旅人として別のテーブルに移る。アイデアを他花受粉する。
- ・ 3ラウンドでは旅人は最初のテーブルに戻り、旅先のアイデアを紹介して、対話を続ける。
- ・ テーブルごとの模造紙には、気が付いたことを、どんどん自由にメモする。
- ・ 自分だけが話すぎないように、他の方のお話も傾聴する。
- ・ 2、3ラウンドの最初で、ホストの人は、そのテーブルで今までどんな話があったか、1~2分以内で説明する。
- ・ 3ラウンド終わったら、ホストの人が、各グループでどんな話があったか共有する。



【講義状況】



【ワールドカフェ状況】



【ワールドカフェ状況】

【ラウンド1：中島商店街で想定される災害について】

- ・ 停電：食料品の保存ができない。エレベーターが使えないと避難が困難、水の運搬も大変。自家発電が動かなかったので整備が必要。
電動シャッターが閉まって防犯対策になったが、火災等の懸念が生じた。
地区によって電気のつき方が違い、電線の配線の問題。
- ・ 土砂災害：八丁平への道が土砂崩れにより通行止めの可能性あり。
- ・ 雨による洪水：知利別川（S54 洪水）
- ・ 地震：建物の老朽化が気になる。

【ラウンド2：想定される災害に対する中島商店街の現状の課題について】

- ・ 停電：調理、冷蔵庫、ストーブ、スマホ等の電源確保が必要。食料品の備蓄庫の設置。
発電機・電動シャッター等のメンテナンス、道具の使い方の訓練が必要。
電気が届くような体制づくりが必要。電気がついている店からの協力が必要。
夜に起きた災害への対応。
- ・ 連絡体制：店舗の確認、各店舗の連絡体制が決まっていない。情報の正確性の判断や正確な情報の取得方法。連絡相手が限定している人、高齢者等のスマホを持っていない人の情報共有。店舗に住んでいない人の情報入手。昼と夜で対応が異なる。
- ・ 津波：旭ヶ丘小学校へ逃げるのが良いが、避難する際のルート確保が必要。
- ・ 学校：避難先として朝・夕の避難体制の確立。旭ヶ丘小学校が避難所としての運用方法。
学校では役割分担等がマニュアル化されている。
- ・ 災害支援：商店街としての炊出し支援の体制づくり。
- ・ 従業員、お客、高齢者、子どもの安全確保・防災対策方法の検討。
- ・ 災害に慣れていない。
- ・ 大雨：H18 大雨で市から土のうが配布されたが、置く場所がなかった。

【ラウンド3：現状の課題に対する必要な基本方針について】

- ・ 連絡体制の構築：連絡網の作成（お店と住居との連絡網も含む）。
LINE の活用（商店街の会員向け企業版）。
信憑性のある情報の発信・入手の体制づくり。
個人情報の取扱いを考慮した、防災に向けたネットワークの構築
- ・ 商店街の中での情報共有、中島商店街独自のネットワークの構築
- ・ 商店街独自のマップ
- ・ 会の垣根を越えた平時からの防災組織・共同体の構築
- ・ 備蓄倉庫等、組合でお金を出し合う等の協力・共助
- ・ 災害が起きた時の役割分担や担当を作る。地域の人たちの得意分野等を有効に使う。
- ・ 昼の町、夜の町で違うので、ルール決め・組織作りが必要
- ・ 高齢者等、障がい者のサポート体制の構築
- ・ 災害慣れしていないため、明確に人を動かすためのシステムづくり。身の安全を確保するために何が重要か。発電機等のメンテナンスのルール決めや訓練の実施



【発表状況】



【発表状況】



【発表状況】